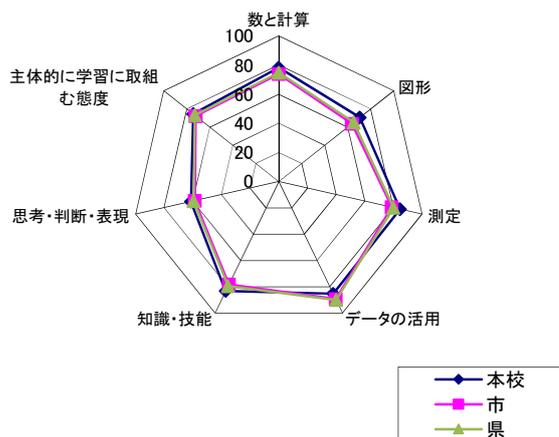


宇都宮市立清原北小学校 第4学年【算数】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	78.2	73.8	74.8
	図形	70.6	63.7	65.3
	測定	84.7	78.9	80.1
	データの活用	85.3	89.3	90.0
観点	知識・技能	83.3	78.3	79.5
	思考・判断・表現	61.3	58.6	59.5
	主体的に学習に取り組む態度	74.3	72.3	73.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は市・県より高い。</p> <p>○3桁+3桁のたし算の正答率は100%と高かった。</p> <p>○同分母の真分数同士の計算は100%と高かった。</p> <p>●わり算の余りを切り上げて処理し、その理由を説明する問題の正答率は64.7%と県の平均を1.3ポイント下回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 朝の学習の時間や宿題などで基本的な計算問題に繰り返し取り組ませ、計算する力を身に付けさせる。 図や数直線、具体物などを使い、自分の考えを説明する機会を多く設け、わり算の余りの意味を理解させる。
図形	<p>平均正答率は市・県より高い。</p> <p>○円の直径を表す直線を選ぶ問題の正答率は、94.1%と高かった。</p> <p>●6個のボールが入った箱の横の長さから、ボールの半径を求める問題の正答率は76.5%であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 半径や直径について理解を深めるために、求める数の計算に必要な情報を図に描くなど、問題解決のための方法を児童と確認する。 具体物を用いて、求めたい部分を理解させ、説明させるなどの活動を取り入れる。
測定	<p>平均正答率は市・県より高い。</p> <p>○道のりの意味を理解しているかについての問題の正答率は、94.1%と高かった。</p> <p>●時刻と時間の時間を分に直す問題の正答率は82.4%で、県の正答率と同等であるが1.2ポイント下回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 朝の学習の時間を利用し、基礎的な問題に繰り返し取り組ませ、基礎基本の定着を図る。 学校生活の中で、残り時間を意識させ、計画を立てて活動に取り組んだりする場面を意図的に設定することで、時間の感覚を育む。 長さ、時刻、重さなどの単元では、具体物を活用し、予想をしてから実測することで、実生活と結びつけて量的な
データの活用	<p>平均正答率は市・県より高い。</p> <p>○棒グラフの1目盛りの表す数を考える問題の正答率は88.2%で、県と同等であった。</p> <p>●棒グラフを読み取る問題の正答率は82.4%で、県の正答率より7ポイント下回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会科や理科など他の教科においても、グラフの読み方について指導を重ね、折れ線グラフや棒グラフの読み取りが身に付けられるようにする。